

箸置き猫クン

まぐまぐ殿堂入り・日刊メールマガジン
「今日のフォーカスチェンジ」第2167号
(2009年10月4日発行)より

脳天気・お気楽が代名詞みたいな私ですが、落ちこむことだって、ときどき、あります。とくに理由もないのに、なんとなく一く、気分がアップしてくれないのです。

夜ならば、あまり気にしません。ひと晩眠れば、ほぼ完璧に、フッカツしているからです。ところが、このときは、朝から、だめなのです。

理由は、うすうすわかっていました。いくつもの仕事が重なりすぎて、身動きがとれなくなっていたのです。切やら責任やらが、重圧となって、まったく気持ちが晴れません。そんな状態ですから、仕事はますますはかどらなくなりそうです。

そのときです。ふっと、パソコンラックの上のたなに、目が行きました。そこに飾ってあった、猫の箸置きが、目に止まりました。部屋のなかに、飾りものなど、ほとん

ど置かないタイプですが、この箸置きセットだけは、めずらしく気に入って、並べてあったのです。そのうちのいっこを手にとり、じっと見てみました。にんまりと曲線を描く目と、口もとが、なんともいえずかわいいのです。(笑)

私は、その猫に向かって、ひとりごつのように、つぶやいていました。「ねえ、私、いま、あせってるよねえ。あせってもしかたないと、わかってるけど、やっぱりあせっちゃう」猫は、もちろん、何も言いません。それでも、その顔をじっと見つめていると、なんとも、ほんわかした気持ちになってくるのです。

そのうち、こんなふうには、語りかけられているような気がしてきたのです。「大丈夫だよ。ボクがついてる」(ん？ 君って、男の子だったの？(笑))「不安な気持ちって、逃げると、ますます、追いかけてくるよね。でも、キミがその仕事をまかされたということは、それだけ、信頼されてるってことなんだよ」ああ、そうだった。胸のなかで、ほわっとした気持ちがこみあげながら、でも、私はこたえていました。「その信頼に、こたえられないんじゃない

ないかってことが、プレッシャーなの」とすると、箸置き猫クンは、またまたこたえました。

「できないことのほうに、気持ちが向いてない？ いつも言ってるじゃない。どうせなら、HAPPYになれる方向を見ようよって」

あらま、一本とられたわと、思わず笑ってしまいました。つられて、本音がこぼれます。

「本当だね。でもそれを自分で自分に言うのって、きびしいときもあるよね」

箸置き猫クンは、その曲線の目と口もとを、ますますまあるくさせて(そんなふうに見えたのです)言いました。

「だから、ボクが言ってあげてるんじゃないか。人間、完璧じゃないんだから、何もかも、ひとりでがんばろうとしちゃだめだよ」

はいはい。それも、よく書いていることです(笑)。

でも本当に、自分ひとりだけで、思っているより、だれかに言ってもらうほうが、ほっとするし、うれしいなあ。自然に、そんな気持ちになりました。

箸置き猫クンは、それを聴くと、ちょっといばったような感じで言いました。

「ま、人間、お互いさま。困ったときは、助け合う。これからも、ときどきは、頼ってくれていいからね」人間...って、あんたは箸置きだろーがっ!...と、ツッコミたくなるのをおさえ、私は素直にお礼を言いました。「ありがと。頼りにしてる」

気がつくとも、気持ちは、ずいぶんさっぱりしていました。おまけに、メルマガまで、一本書けちゃってます。(笑)私は、箸置き猫クンを、もとのラックの上にもどしました。ほかの猫クンたちも、にまにま顔で、そこにいます。みんなで、「応援してるよ」と、言っているようでした。

どんなときでも、私たちは、ひとりじゃありません。ためしに、あなたのまわりも、ぐるっと見回してみてください。あなたに話しかけたくって、うずうずしている「だれか」が、いるかもしれませんよ

●日刊メールマガジン「今日のフォーカスチェンジ」(かめおかゆみこ編集・発行)は、2003年11月1日創刊。2009年4月、2000号達成。3秒で読める携帯版もあり。無料講読は「かめわざ快心塾」から♪

<http://kamewaza.com/>